



障害者スポーツ

編集・発行

特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会

URL: <https://syospo-tochigi.org/>

〒320-8508 宇都宮市若草1丁目10番6号

とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター内

TEL.028(624)2761(FAX兼用)

発行人 麦倉仁巳

令和4(2022)年度 とちぎ障害者スポーツ推進フォーラム 兼スキルアップ研修会を開催しました!



令和5(2023)年3月5日(日) とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)

当協会の主催で、「令和4(2022)年度 とちぎ障害者スポーツ推進フォーラム兼スキルアップ研修会」が、3月5日(日)、とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(愛称:わかくさアリーナ)で、「いちご一会とちぎ大会」に携わった競技団体や指導者、約60名が参加し、開かれました。

2部構成で行われ、第1部のスキルアップ研修会では、(一財)栃木陸上競技協会理事長の渡邊方夫氏を講師にお招きし、基調講演が行われました。第2部は、栃木県障害者陸上競技協会代表の服部隆志氏、栃木県障害者スポーツ指導者協議会会長の郡司原之氏、栃木県保健福祉部障害福祉課係長の墨谷聡志氏、(一社)栃木県作業療法士会的那須野利喜氏をお招きし、パネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、とちぎ大会を振り返り、これからの本県の障害者スポーツ振興について考えました。

とちぎ障害者スポーツ推進フォーラム兼スキルアップ研修会

●第1部 スキルアップ研修会

○基調講演：「部活動指導を通して伝えられること」

(一財) 栃木陸上競技協会 理事長 渡邊 方夫 氏



基調講演は、「選手を指導する上で心がけるべきこと」などについて、部活動指導での経験談をお話いただきました。特に、「指導者は、選手との出会いに感謝し、選手の自尊心を決して傷つけず大切に想うことが大切で、常に選手の気持ちを察する努力を怠らないで欲しい。また、指導者は、選手に競技力を伸ばすと同時に、素直さ・意思の強さ・協調性（社会性）を備えた人間性を育てることをポイントにおいて指導して欲しいし、そのためには、指導者自身も精進し、選手を成長させようと努力して欲しい。」と強調されました。

【渡邊方夫氏のプロフィール】真岡女子高校時代にオリンピックでやり投げ元日本記録保持者の海老原有希氏や、同じくオリンピックで元マラソン選手の赤羽有紀子氏を指導した。全国障害者スポーツ大会の石川大会、山形大会、徳島大会、愛知大会に陸上競技監督として参加した。

●第2部 とちぎ障害者スポーツ推進フォーラム

○シンポジウム：「いちご一会とちぎ大会」の感動を未来へ～私たちにできること～

- ・アドバイザー (一財) 栃木陸上競技協会理事長 渡邊 方夫 氏
- ・コーディネーター (特非) 栃木県障害者スポーツ協会
事務局長補佐 小金沢 茂 氏
- ・パネリスト <行政> 栃木県保健福祉部障害福祉課社会参加促進担当
係長 墨谷 聡志 氏
<指導協> 栃木県障がい者スポーツ指導者協議会会長 郡司 原之 氏
<競技団体> 栃木県障害者陸上競技協会代表 服部 隆志 氏
<医療> (一社) 栃木県作業療法士会事業部 那須野 利喜 氏

競技団体、指導者、行政、医療の分野から代表者をお招きし、シンポジウムを行いました。シンポジウムでは、「いちご一会とちぎ大会」のレガシーは何か、また、そのレガシーを未来へ継承していくには何が必要かについて、意見交換を行いました。郡司会長は、スポーツ振興に重要な指導者について「同大会に向けて新たに立ち上げた競技別部会の部会員を増やし、活動を活発化させることで、指導員の資質向上を図りたい」との話がありました。コーディネーターの小金沢補佐は、「同大会では、素晴らしいレガシーがたくさん残ったが、ここに集まった『皆さん（人）』が大きな遺産である。そして、『大会成功』という同じ目標を掲げ、ワンチームになって進み、力を合わせて一大行事を成し遂げたことが『真のレガシー』である。」と締めくくりました。



令和4(2022)年度 障害者スポーツ教室(市町出前講座)実施報告

No.	期 日	市 町	会 場	参加者
1	11月10日(木)	芳賀町	芳賀町第2体育館	9名
2	11月12日(土)	那須町	那須町スポーツセンター	22名
3	11月15日(火)	真岡市	真岡市総合体育館	30名
4	11月17日(木)	栃木市(都賀)	栃木市都賀南部コミュニティ体育館	25名
5	11月29日(火)	さくら市	さくら市喜連川体育館	21名
6	12月3日(土)	栃木市(栃木)	栃木市勤労者体育センター	18名



那須町
ストラックアウト



真岡市
卓球バレー



栃木市(都賀)
カローリング



さくら市
コントロール・アタック

令和4(2022)年度 障害者スポーツ教室・大会を開催しました (ボッチャ/コントロール・アタック)



ボッチャ教室



ボッチャ大会



コントロール・アタック教室



コントロール・アタック大会

[1/22(日) 参加人数 26名] [2/11(土) 参加人数 26名] [2/25(土) 参加人数 10名] [3/18(土) 参加人数 14チーム]

各参加者は、とても楽しんでいる様子でした。ご参加いただいた皆様、講師の方々ありがとうございました。
＜会場：わかくさアリーナ＞

「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の炬火台が展示保存へ

令和5年3月1日(水)、県総合運動公園内カンセキスタジアムとちぎアプローチデッキ東側の芝生広場に、昨年10月の「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」で使われた炬火台が展示され、披露式が行われました。炬火台は、いちごをモチーフとしたデザインで大会のシンボルとなる炬火を期間中、灯し続けました。広く県民に親しんでもらい、大会のレガシー(遺産)のひとつとなるよう祈念します。

知事から当協会へミニ炬火台・炬火トーチが贈呈されました。

※ミニ炬火台・炬火トーチは、わかくさアリーナに展示していますので、ぜひ見に来てください。



記念セレモニー



ミニ炬火台・炬火トーチの贈呈
福田知事(左)から麦倉会長へ



ミニ炬火台・炬火トーチ

令和4(2022)年度 障害者スポーツ選手等育成・強化事業報告

(1) 個人競技裾野拡大事業

【フライングディスク体験会】



<第1回目>



<第2回目>

フライングディスク教室を全2回(2/12、2/18)実施しました。参加者からは「とても楽しかった。今後も続けたい。」との感想がありました。

【ソフトバレーボール体験会】



<第1回目>



<第2回目>

ソフトバレーボール教室を全2回(2/18、2/26)実施しました。参加者からは「練習会に参加したい。もっと上手になりたい。」との感想がありました。

(2) 栃木県強化指定選手育成事業

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に向けて強化練習会を実施しました。

<個人競技>

陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球(STT含む)、フライングディスク、ボッチャ、ボウリングの7競技について強化練習会を実施しました。

<団体競技>

バスケットボール(知的・男女)、車いすバスケットボール(肢体不自由)、ソフトボール(知的)、グラウンドソフトボール(視覚)、バレーボール(聴覚・男女、知的・男女、精神)、サッカー(知的)、フットソフトボール(知的)7競技について、定期的に強化練習会を実施しました。

(3) 特別支援学校等スポーツ活動支援事業

特別支援学校、特別支援学級及び普通学級に在籍する障害のある児童、生徒のスポーツに対する興味・関心を高めることを目的に、バスケットボール、車いすバスケットボールの体験会を実施しました。

【バスケットボール体験会】

	期 日	会 場	参加者数
第1回	2月19日(日)	キョクトウ三島スポーツパーク(三島体育センター)体育館	10名
第2回	2月26日(日)	とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター	29名
第3回	3月4日(土)	関東ホーチキにしかた体育館(栃木市西方総合文化体育館)	9名

【車いすバスケットボール体験会】

	期 日	会 場	参加者数
開 催	3月19日(日)	とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター	13名



バスケ 第1回



バスケ 第2回



バスケ 第3回



車いすバスケ

森川 澄子 氏 令和4(2022)年度(公財)日本パラスポーツ協会功労章を受賞！



長年にわたり本県の障害者スポーツの普及・発展に多大な貢献を果たしたことから、森川 澄子 氏が（公財）日本パラスポーツ協会よりパラスポーツの発展に功績のあった方に贈られる『（公財）日本パラスポーツ協会功労章』を受賞しました。

このたびの受賞、心よりお祝い申し上げます。

森川 澄子 氏 プロフィール

平成 10(1998) 年に障害者スポーツ指導員資格を取得。障害者スポーツ指導員資格を取得後は、中級障害者スポーツ指導員資格、レクリエーション資格、サウンドテーブルテニス審判員資格を取得するなど、資質向上に積極的に取り組んでいる。特に、サウンドテーブルテニスでは、栃木県障害者スポーツ大会の審判長を務めるなど中心的な役割を果たしている。平成 13 年度の第 1 回全国障害者スポーツ大会（宮城県）では、栃木県選手団サウンドテーブルテニスコーチとして参加した経験を持つ。長年、スポーツ教室や県障害者スポーツ大会など当協会事業に協力するなど、障害者スポーツの普及発展に情熱を持って活動している。また、令和 4(2022) 年の第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」では、サウンドテーブルテニス審判員養成に中心的な役割を果たし、本県の障害者スポーツの普及・発展に多大な貢献をされている。

令和4(2022)年度(特非)栃木県障害者スポーツ協会顕彰受賞者

（特非）栃木県障害者スポーツ協会顕彰式が、令和 5(2023) 年 3 月 26 日（日）、とちぎ福祉プラザ特別会議室で行われました。さきの全国障害者スポーツ大会で好成績を収めた 4 名に優秀選手賞、障害者スポーツ競技の指導や普及に尽力した 3 名に障害者スポーツ功労賞を授与しました。（敬称略）

【優秀選手賞】

- 飯島 美佐子（第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」陸上競技 砲丸投 新記録 10m59cm）
- 落合 有佳利（第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」水泳 25m 背泳ぎ 新記録 21 秒 13）
- 吉原 未来（第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」水泳 50m 背泳ぎ 新記録 49 秒 33）
- 大島 茄巳琉（第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」水泳 50m 背泳ぎ 新記録 32 秒 93）
（第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」水泳 50m バタフライ 新記録 31 秒 44）

【障害者スポーツ功労賞】

- 大木 一弘 ■藤巻 高雄 ■坂巻 剛士

上左から大木一弘、藤巻高雄、飯島美佐子、新村一男事務局長（障スポ協）、下左から森川澄子、郡司原之、稲瀬岳史総括課長補佐（県障害福祉課）、麦倉仁巳会長（障スポ協）、落合有佳利、吉原未来



特別全国障害者スポーツ大会 『燃ゆる感動かごしま大会』

【大会期日】令和5(2023)年10月28日(土)～30日(月)

※栃木県選手団の派遣期間は、10月26日(木)～31日(火)の6日間となります。

【開・閉会式会場】

白波スタジアム(県立鴨池陸上競技場)<鹿児島市>

【個人競技及び会場】



第22回全国障害者スポーツ大会
(いちご一会とちぎ大会)

競技名		開催地市町	競技会場名
個人競技	陸上競技(身体・知的)	鹿児島市	白波スタジアム(県立鴨池陸上競技場)
	水泳(身体・知的)		鴨池公園水泳プール
	アーチェリー(身体)		鹿児島ふれあいスポーツランド
	卓球(身体・知的・精神) ※サウンドテーブルテニスを含む		西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)
	フライングディスク(身体・知的)		県立サッカー・ラグビー場
	ボウリング(知的)		サンライトゾーン
	ボッチャ(身体)	指宿市	指宿総合体育館

身体=身体障害者が出場できる競技、知的=知的障害者が出場できる競技、精神=精神障害者が出場できる競技

栃木県選手団派遣選手(個人競技)募集

毎年開催されている障害者スポーツの全国的な祭典である全国障害者スポーツ大会が、2023年は鹿児島県で実施されます。

栃木県では、下記のとおり派遣選手を募集しますが、参加日程が5泊6日と長期になりますので、学校や職場等にも確認をお願いします。

なお、派遣選手の決定については、派遣選手選考会議(6月上旬開催)において選考の上、決定します。

■募集競技

陸上競技(身体・知的)、水泳(身体・知的)、フライングディスク(身体・知的)、アーチェリー(身体)、卓球(身体・知的・精神)／サウンドテーブルテニス(身体)、ボウリング(知的)、ボッチャ(身体)

■参加資格

- ①令和5(2023)年4月1日現在で13歳以上の身体障害者、知的障害者及び精神障害者
 - ②栃木県内に現住所を有する方又は栃木県外に住所を有する方で、栃木県に所在する学校や施設等に通学並びに入所及び通所している方
 - ③日頃からスポーツ活動に取り組み、大会にも積極的に参加するなど、スポーツを通じた社会参加と競技力の向上に意欲を有する方
 - ④栃木県選手団の一員として、集団生活・行動ができる方。
 - ⑤全国大会派遣に伴う関連行事(合同練習会、結団式等)に参加できる方
 - ⑥原則として、前年度の第18回栃木県障害者スポーツ大会(令和4(2022)年5月22日)に出場した方
- ※①～⑥の全てに該当する方です。

■参加申込方法

- (1)施設を利用されている方、特別支援学校・学級に在学されている方、栃木県手をつなぐ育成会及びスペシャルオリンピックス日本・栃木に加入されている方は、各所属先からの推薦が必要となります。
- (2)在宅の方は、住所地の市町障害福祉担当課からの推薦が必要となります。

■申込期間

令和5(2023)年4月18日(火)～5月23日(火)

■その他

参加負担金として選手一人当たり7,000円を負担していただきます。

★今回は、栃木県選手団派遣選手(個人競技)と併せて栃木県強化指定選手(個人競技)も募集します。
詳細については、当協会のホームページをご確認ください。

第19回栃木県障害者スポーツ大会開催のお知らせ

【期 日】 令和5(2023)年9月24日(日)

※荒天又は新型コロナウイルス感染拡大状況などのその他の都合により、主催者と競技主管団体等と協議の上、実施出来ないと判断した場合は中止とします。

【主 催】 栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮市、(福)栃木県社会福祉協議会、栃木県身体障害者団体連絡協議会、栃木県特別支援学校長会、(特非)栃木県障害施設・事業協会、(一社)栃木県手をつなぐ育成会、栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会、(一財)栃木県精神衛生協会、(特非)栃木県障害者スポーツ協会

【実施競技及び会場】

	競技名	開催日	競技会場名	
個人競技	陸上競技(身体・知的)	9/24(日)	栃木県総合運動公園カンセキスタジアムとちぎ	
	水泳(身体・知的)	11/4(土)	栃木県総合運動公園日環アリーナ栃木(屋内水泳場)	
	アーチェリー(身体)	9/24(日)	宇都宮市みずほの中央公園アーチェリー場	
	卓球(身体・知的・精神) ※サウンドテーブルテニスを含む	9/24(日)	日環アリーナ栃木(サブアリーナ) 日環アリーナ栃木(多目的スタジオA・B)	
	フライングディスク(身体・知的)	9/24(日)	栃木県総合運動公園多目的広場(投てき場)	
	ボッチャ(身体)	9/24(日)	わかくさアリーナ	
	ボウリング(知的)	9/30(日)	宇都宮第二トーヨーボウル	
団体競技	バスケットボール(知的)	9/24(日)	日環アリーナ栃木(メインアリーナ)	(予定)
	車いすバスケットボール(身体)	9/24(日)	日環アリーナ栃木(メインアリーナ)	(予定)
	ソフトボール(知的)	9/24(日)	栃木県総合運動公園(軟式野球場B)	(予定)
	グランドソフトボール(身体)	9/24(日)	栃木県総合運動公園(軟式野球場A)	(予定)
	バレーボール(身体・知的・精神)	9/23(土)	日環アリーナ栃木(メインアリーナ・サブアリーナ)	(予定)
	サッカー(知的)	9/23(土)	栃木県総合運動公園(サッカー場A)	(予定)
	フットソフトボール(知的)	9/24(日)	栃木県総合運動公園(軟式野球場C)	(予定)

身体=身体障害者、知的=知的障害者、精神=精神障害者が出場できる競技

※団体競技については、栃木県代表チームと対戦相手との調整により、日程を決定する。

■参加資格

次の全てに該当する方が選手として参加できます。

- ①令和5(2023)年4月1日現在、12歳以上の身体障害者、知的障害者及び精神障害者。
- ②栃木県内に現住所を有する方。
- ③身体障害者手帳の交付を受けた方。
- ④療育手帳の交付を受けた方。あるいは、その取得の対象に準ずる障害がある方。
- ⑤精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方。あるいは、その取得の対象に準ずる障害がある方。



第13回大会 開会式の様子

■参加申込方法

- (1) 障害者福祉施設を利用されている方、特別支援学校・学級に在学されている方、栃木県手をつなぐ育成会スペシャルオリンピックス日本・栃木に加入されている方は、各所属先にお申し込みください。
- (2) 在宅の方及び会社等勤務の方は、住所地の市町障害福祉担当課へお申し込みください。

■参加申込期間

令和5(2023)年5月12日(金)~5月31日(水)※必着

■その他

2024年度の「第23回全国障害者スポーツ大会(SAGA2024)」の選手は、原則として、本大会に参加した者から選考します。

サウンドテーブルテニス(STT)考案者 澤田 正好 先生の顕彰碑建立！

澤田氏は、視覚障害者スポーツ振興を奨励し、感覚訓練のための盲人卓球（サウンドテーブルテニス【STT】）の考案者です。

2022年10月に、足利市^{ともえ}巴町の法玄寺境内に顕彰碑が建立されました。

【澤田 正好（さわだ まさよし）1894～1965年】

幼い頃の病で視力が低下し、東京盲学校中等部を卒業後、1916年、足利に鍼灸按摩講習所を創設。翌年に私立の足利盲学校となり初代校長に就いた。学校発展に心血を注ぎ、後に栃木県立足利盲学校となった。さらに、視覚障害者の教育および社会的地位向上のために盲学校の義務化、点字投票認可等を実現した。



令和4年度 公認障がい者スポーツトレーナー 阿久津 瑞季さん 合格！

阿久津さんは、車いすバスケットボール「栃木レイカーズ」のマネージャーとして活躍しています。この度、日本パラスポーツ協会の「公認障がい者スポーツトレーナー」に合格されました。おめでとうございます。ご活躍を期待しています。

初級パラスポーツ指導員養成講習会 受講者募集！

【期日予定】 令和5(2023)年11月18日(土)、11月25日(土)、12月9日(土)、12月16日(土)

【会 場】 とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター

【受講資格】 本県在住・在勤(在学)の18歳以上の方

【定 員】 30名(定員を超えた場合は抽選とします。)

【申込方法】 所定の申込書にて、郵送・FAX・メールで当協会までお申込みください。

※申込書は、当協会ホームページからダウンロードできます。

【申込期間】 令和5(2023)年10月3日(火)～10月20日(金)

【必要経費】 参加費5,000円(受講料1,500円、テキスト代3,500円)

詳しい情報は、当協会ホームページをご確認ください。

栃木県障害者スポーツ協会賛助会員募集のお知らせ

当協会は障害者スポーツ大会の開催及び選手強化のほか、障害者が身近なところでスポーツやレクリエーションに親しめるように、障害者スポーツ教室の開催、指導者の養成、障害者のスポーツ相談、障害者スポーツの情報提供、スポーツ・レクリエーション用具の貸出等の事業を行っています。

活動の趣旨にご賛同いただける企業、団体、個人の皆様を対象に賛助会員を募集していますので、ご協力をお願いいたします。賛助会員にお申込みいただける方は、事務局までご連絡ください。

個人会員

1口 3,000円

団体会員

1口 5,000円

(R4年度末現在 個人会員 54名、団体会員 13団体)

<新任職員紹介>

石川 智子

佐藤 拓也

折原 亜希子

どうぞよろしくお願いいたします。



この機関紙は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。